

季節のことば

行く春、行く秋という詩語は古くからあったが、行く夏や行く冬を惜しむという詩歌はほとんど見当たらない。春を惜しむ、秋を惜しむはあっても夏と冬の去り行くのを惜しむ詩情はなかったからだろう。が、近頃は太いにある。酷暑の夏でも厳寒の冬でも熱中し

て遊べる時代になったからだ。海に山に情熱をそそいだ若者は行く夏を惜しむ。スキー・スノボの好きな男女にとっては冬のシーズンが終わることは何よりも名残惜しいに違いない。やがて歳時記にも季語として登板しそうな新しいことばである。

Mikasa NEWS

三笠ニュース

PR旬報/年4回発行

発行所 三笠産業株式会社

郵便番号101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411 大代表 ファックス03(3233)0530

ホコリや水に強い防塵・耐水構造の インバーター-FU-161型 新発売

高性能と高い信頼性で御好評をいただいておりますFU-160型高周波インバーターをフルモデルチェンジし、防塵・耐水構造のFU-161型を開発しました。

防塵・耐水構造の他にも電源電圧異常等を3色の高輝度LEDランプの点灯・点滅で警告すると共にバイブレーターを脈動させ作業者に低電圧を警告する機能も付加するなど、予防安全機能も充実し、信頼性の高い高周波インバーターとなっております。

軽量・コンパクトな防塵・耐水構造

前後のパネルには、高硬度で軽量なアルミプレート、上面カバーと側面カバーには、アルミダイカストを採用し、軽量・コンパクトな防塵・耐水構造にしました。

さらに、上面カバー及び側面カバーは球面を生かしたアルミダイカスト製ですので、丈夫でコンクリートが付着しても除去しやすくなっています。

また万一、筐体の一部が破損しても破損部品のみの交換で済みます。

防塵・耐水構造ですので、埃の多い現場での使用及び長期保管等による機器内部への埃の侵入を防ぐと共に、不意の雨やメンテナンス時の水洗い等による、機器内部への水分の侵入も防ぎ、粉塵や水分による電子機器の損傷を防止いたします。

防塵・耐水規格(電気機械器具の耐水・保護性能等級)は、IP56を取得しております。(但し、水洗い時は、インバーターを正立状態で洗浄してください。横倒しや逆さにした状態での水洗い及び、高圧洗浄機での水洗は、冷却ファンの故障や思わぬトラブルの発生になりますのでご注意ください。)

LEDランプの点灯・点滅及びバイブレーターの振動体の脈動による新警告表示機能を採用

電源電圧トラブルを防止して、安全にコンクリート打設作業を行っていた

仕様

型式	1次側				2次側				外形寸法			質量(kg)
	電圧(V)	電流(A)	入力(KVA)	周波数(Hz)	電圧(V)	電流(A)	出力(KVA)	周波数(Hz)	全高(mm)	全幅(mm)	全長(mm)	
FU-161	100	20	2.0	50/60	48	19.2	1.6	240	250	240	324	8.0



だく為に、メスパネルコンセント側に、3色で4種類の点灯・点滅表示モードを備えた高輝度LEDランプを装備しました。

高輝度LEDランプの採用により、作業中の電源電圧を離れた場所からでもオペレーターが確認出来ます。

点灯・点滅表示モードは次の通りです。

電源状態	LEDランプの点灯・点滅状態	電源電圧(参考)	
正常電圧時	緑色点灯	約80~120V(※1)	
		低電圧側	高電圧側
警告電圧時(※2)	緑色点滅	約70~80V	約120~130V
異常電圧時(※2)	橙色点滅	約60~70V(※3)	約130~140V
停止電圧時(※2)	赤色点灯	約60V以下	約140V以上

※1 常にこの電圧範囲でご使用ください。

※2 電源電圧をご確認ください。

※3 異常低電圧時はLEDランプの点滅に加えて、インバーター制御でバイブレーターを脈動させ『音』と『振動』でオペレーターに電源電圧

の異常低下を警告します。

異常電圧時でもコンクリート打設作業の継続を可能とするため、出力停止は致しませんが、低電圧の状態ではバイブレーターの作業能力を有効に発揮できません。

パイプフレームにクロームメッキを採用

錆や傷に強く、コンクリートの除去が容易です。従来の焼付け塗装と異なり再塗装の手間も不要で、保守作業が容易となりメンテナンスコストが低減されます。

メスパネルコンセントを錆に強く、分解修理可能に改良

メスパネルコンセントのカバー可動部の構成部品及び、固定ビスを含めた金属部品にステンレスを採用し、錆による開閉の渋さや破損を解消しました。また、カバーの固定方法を改良する事により、破損部品のみの交換が可能となりました。

雷保護回路を採用

落雷などによる、電源や筐体を通して侵入する高エネルギー電圧からイン



やはり私たちの国では大地震はどこでも起きると考えた方がいい。

さる春分の日、九州北部にM7という強震があった。テレビでは福岡市内の被害や、震源に近い玄界島の惨状と、あわせて有明海に面した景勝地柳川の様子が映され、雛の春祭りに華やかな稚児たちの船下りと、川端をびっしり埋め尽くした観光客で賑わっていた。そこに突然の激しいゆれに、おびえた人々の顔と談話。しかし、私は不謹慎にも柳川の記憶につられ北原白秋歌集をとりだした。

「廃れたる園に踏み入りたんぼの白きを踏めば春たけにける」

「郷里柳河に帰りてうたへる歌」と詞書つきの一首である。これは白秋が生家の整理と郷里決別のための帰郷だった。以来昭和16年、黒眼鏡での再訪まで三十年もの離郷。そんな白秋の生涯を久しぶりに辿り、窓辺でのひとときを過ごした。

その数日後「愛・地球博」の名で愛知万博が開幕。開催テーマは「自然の叡智」そして循環社会だという。21世紀の人類が直面するさまざまな地球的課題を解決する方向性、そして人類のこれからの生き方を模索するため、新しい文明文化の創造と地球大交流を掲げている。

「万博」といえば先ず広大な平地の開発建設が常識だったが、今回は自然地形をそのまま生かしたという。はるか昔、大阪万博(1970)の熱気を思い出し、建設現場の視察にまで出かけた記憶がよみがえる。さらに昔の日本貿易博覧会(1949)は東日本で戦後初の開催だった。神奈川県と横浜市が主催。野毛山会場・神奈川会場の両方とも、地元の利もあって興味深々で通った私は青春彷徨時代の下真ん中。さて、愛知万博には、行くか行かぬか、会長室の窓辺で夢に耽るひとときである。

バーターを保護します。

(但し、直接又は、近接した落雷による機器の破損防止機能ではありません。)

電子回路基板防湿・防滴コーティング

防塵・耐水構造ですが、万一修理の(2面下に続く)

展示会レポートあれこれ FROM ラスベガス

WOC (1/18-1/21)

正月気分も抜けきらない1月18日からWOC (ワールドオブコンクリート) ショーがラスベガスで開催された。

今にも雪が降りそうな成田とは対照的にラスベガスの空は青く晴れわたっていた。機内で映画三昧の時間を過ごしたせいか空が眩しい。窮屈な座席で、飲食とテレビと仮眠を繰り返しながらの10時間は長い。折角日曜日に到着したというのに部屋に着くなり寝込んでしまい、電話のベルに起こされるといきなり夜景が飛び込んできた。失った時間を後悔しても後の祭りであったが、その後、代理店のマルティクイップ社(以後MQ)のメンバーと合流して明日からのスケジュールの確認を行う事になった。

今年は1月のWOCショー、2月のARAショー、3月のCONEXPOショーという建設機械に直接関係する大型展示会はすべてラスベガスで開催される。集客力も高く、家族を連れてでも楽しめるところから、仕事と家族サービスを同時に行えるこの地のメリットは大きいし、この開放感が人々を惹きつけるのであろう。

町の中心部を通るフラミンゴ通りを歩いていくと、直前にテレビで見た“オーシャンズ11”そのままの舞台がそこにあった。それは人気のホテルベラージオを舞台にしたもので、ロケも目の前に広がる噴水ショーも映画そのままである。

宿泊したホテルにはラスベガスらしい派手さがないので、隣のフラミンゴヒルトンならとぶらついているとびっくり。さすがに昔からこの場所にあるホテルだけに、古いながら規模は巨大で、この道50年という“パニーちゃん”が元気に働いている姿が特に印象的であった。これもアメリカらしいところか? ホテルに戻ると、1階のカジノに挑戦。慣れないブラックジャックに預金口座を開設する事になった。懲りない面々、“いや失礼”ともに閉んだテーブルは日本人4名と米国小松の米人スタッフが偶然座り“このテーブルはジャパンマネーのテーブルだぞ”なんて冗談を言われながら和気藹々と時間が過ぎていった。

夜の話ばかりだと、ベガス預金を引

(1面より)

時やケーシングの破損等により、水や埃の浸入があった場合でも、三笠オリジナルの基板コーティングで湿気や埃による電子回路基板のトラブルを防ぎます。

従来からの保護機能も標準搭載

『過負荷』、『過電流』、『高電圧』、『低電圧』等に対する保護機能や、万一



き出すチャンスがなくなるので、昼間の真面目さにも少し触れておきたい。

WOCは、コンクリート関連工事の資機材の展示会で、火曜日から金曜日の4日間の予定で行われ前半の2日間を見て回った。前日の月曜日には、MQ社のセールスマンを中心とした会議が朝から夕方まで、その後会場に移り新製品を含む製品説明会も行われる徹底ぶり、各地に散らばるセールスマンは、こういう機会がないと新しい会社の動きや新製品に身近に触れる機会がないのかも知れない。

新規の取扱製品の紹介や既存商品の改良説明、顧客への売り込みのポイントなど、皆真剣な眼差しで聴講する場面は、普段の明るく楽天的なセールスマンがこんなに真剣になるという事に驚かされた。彼らは腕一本で稼ぎブール付きの豪邸に住める男達なのだ。さすがセールスの国、アメリカを強く印象づけられた。

工事業者が中心となって来場するこの展示会では、筋肉隆々な男達がその鉄人ぶりを競う“ブリックスレイヤーコンテスト”、つまり煉瓦積み競技会とでもいうべきか、力自慢や腕自慢の人間が2人1チームになって、如何に綺麗に早く煉瓦塀を作るかというコンテストが開催されていた。煉瓦運び人と煉瓦塀を作る人がチームを組んで、優勝賞金2000ドルを目指して、全米各州の代表者が出場する。賞金はあまり多くはないが家族総出の応援は否が応でも盛り上がる。こんなイベントを我々の機械でもできたら展示会も盛り上がるかも知れないとは思いつつも、“ランマーやコンパクターではどうも格好がつかない”と自問自答しながら会場をあとにした。

展示ブースは、主力がコンクリート製品という事からMQ社としてもホワイトマン関連商品を中心にミキサー、カッターやコンクリートパイプレーターなどを前面に出したレイアウトとな

の漏電事故を防ぐ為の『漏電防止機構』等FU-160型に搭載されております保護機能は全て搭載されており、より一層安全に作業いただけます。

数々の優れた特長を備えたFU-161型高周波インバーターをFX-B型シリーズパイプレーターと共に是非ご採用下さい。

っている。三笠製品もコン、高周波、分断式、軽便式とフルレンジで展示されていることに感謝しながら、特に軽便式パイプレーターは分断式とともに、今後益々力をいれて貰える商品として位置づけられるであろう。

この展示会で特に印象深かったのは大型の搭乗式トロウエルメーカーが共存できるほど米国市場のコンクリート工事需要が大きいということである。MQ社は屋内スタンドに取扱製品のほぼすべてを展示しながら、更に屋外スタンドでトロウエルやローラースクリード等の大型でしかもアピール度が非常に高い商品を展示し且つデモンストレーションを行っていた。

海外一課 田島記

ARA (2/15-2/17)



1月のWOCに続き、2月は15日から17日の3日間の予定でARAショーがラスベガスで行われた。今回はマンダレーベイホテルに隣接したイベント会場での開催の為か、見慣れたコンベンションセンターとは趣を異にして高級感が漂い、建機とは場違いな雰囲気も感じられた。

集約された展示スペースは、足が棒になるほど歩く事もなく、我々来場者にはありがたい。またMQ社のブースや競合他社の展示ブースへのアクセスもよく、効率の良い動きができた。

ARAショーは、米レンタル協会会員限定の展示会という事もあって、各地に散らばるレンタル会社のオーナーが商品を見ながら直接購入できる機会として最も注目される展示会の一つである。そして、この展示会への出品業者は長年の実績を評価されて参加できる事から建機業界では格式の高い展示会である。今年は景気の先行きが明るいところから過去にない程多くの来場者があり、MQ社展示ブースでは人の波が切れることのない程盛況であった。

展示会に先立ち、前日には各地に散らばるセールスマンを集めたミーティングが開催され、ショーでの成功を期すとともに、昨年度の優秀セールスマンの発表と表彰が行われた。

特に今回は1年間を通じて実施した販売キャンペーンで、三笠を含む日本メーカー3社が協賛して、取り扱いメーカー別に優秀セールスマン数名を日本に招待するイベントを企画した為、例年にも増して盛り上がりを見せた。

米国経済の底力の違いを見せつけられた昨年の急速な景気回復は、MQ社の販売を更に勢いづけ、GCE部門(一般輾圧機部門)も二桁の伸びを示し、三笠製品もその恩恵に浴している。

今年1月より出力8kw以下のEPA規制の2次規制がスタートし、ディーゼルエンジンの排気ガス規制が一層強化された。小排気量エンジンが販売の主力となっている三笠製品は少なからず影響を受け、今後益々ディーゼルエンジンの排気ガス規制が強化されていくであろう。規制対応の厳しさはこのARAでも対応済みディーゼルエンジンの発表がなされなかったことから推察される。もし、売りたいくても売れない状態が長引けば、小型建機メーカー全体に不利益がおよび、市場が拡大する中ではあまりにも痛い。

米国の排気ガス規制、ユーロ騒音規制、そしてユーロ手許振動規制と我々が超えなければならないハードルは高いが、総合的に問題解決を図れるメーカーが選別されてきている。

規制の広がる中で、そのスピードに追いつき、追い越せるメーカーでありたいという思いを抱きながら、今回のARA展示会を俯瞰すると、三笠の取り組みを除くと未だ明確に表面に出てきていない。

三笠では今年のWOCからランマーに求められる輾圧力を従来通りの強さで保ちながら、手許防振性を飛躍的に向上させた4サイクルランマー3機種を発売している。この流れによりMQ社のランマー販売に弾みがついている。新しい製品や独自の技術革新を正当に評価してくれる米国市場は、我々メーカーにとって最も重要なフィールドとして、益々研究開発に力が入る。弊社のランマーがこれらの展示会を通じて、積極的に受け入れられた事をここに報告させて頂きたい。

海外一課 田島記

CONEXPO (3/15-3/19)



ラスベガスはメイン通り(ストリップ)を歩いただけでエンターテイメントシティーであることを実感する。巨大で豪華なテーマパークのようなホテルが立ち並び、見て歩いただけで世界旅行をも楽しめてしまう。事前にガイドブックやインターネットで調べてやってきたのだが、想像よりもはるかにスケールが大きく、手持ちの地図と距離感がまったく合わずひたすら歩かされた。足はすっかり棒となってしまった。

さて、このラスベガスで3月15日～19日、CONEXPO国際建設展が開催された。“CONEXPO”は、ドイツの“BAUMA”やフランスの“インターマット”と並び3年に一度開催される世界3大建設機械見本市のひとつで、米国建機業界最大のイベントとして、

120カ国から10万人以上の来場者が訪れる。会場には巨大クレーンが林立し大型トラックやコンクリートミキサーが所狭しと展示されて、これほど大きな展示場を見たのは私にとって初めての経験であった。

代理店のMQ社ブースは、取扱レンジすべてにまじって三笠製品をモデルごとにシリーズで展示し、作業現場をイメージしたデモンストレーションも盛んに行っていた。MQ社セールスマンが積極的に来場者を出迎え、その接客術を目の当たりにして、三笠を支えてくれている人たちに感謝するとともに、彼らの営業をどのようにサポートしていったらよいかを強く自覚することになった。

広大な展示会場を見て回りながら、

資料を請求しようにもカタログが集まらない。というのも事前登録した入場者カードで、来場者の情報を読み込み、後日資料を送付してくれるシステムになっている。重たいカタログを担ぎながらの展示会視察は過去の話になってきた。また、Webサイトに直接アクセスして欲しいとか、今後ますますITの活用が重要になってきている。

弊社Webサイトからも、最新情報やWebパーツリストから部品の注文等、お客様に役立つ情報が日々更新されておりますので、ご活用いただきたいと思います。

最後に今回の出張でお世話になったMQ社社員の方々やその関係者の皆様に紙面をかりて感謝申し上げます。

海外一課 石川記

第24回 社員海外視察旅行報告 ブルネイ・マレーシア 7泊8日

今回の10年勤続者海外視察旅行に参加したのは札幌の池尻、海外営業の小澤、技術研究所の原島の3名。2月19日から26日までの7泊8日でブルネイ、マレーシアの2カ国を視察して来ました。なぜこの2カ国になったかは私池尻のまったく知らないことで、後に後悔し険悪なムードにも。

最初の目的地ブルネイまでは乗り継ぎを含め成田から約13時間、北海道を出たことのない私にとってはやはり疲れました。着いてすぐ私には大問題発生、小澤さんの一言「あっ、酒忘れた」なんとブルネイはイスラム教の国、お酒のない国だったのです。公衆の前での飲酒は逮捕されるとか。それもなんとこの国で2泊も、日本ですら二日間も禁酒した事のない私にとっては、鳥流しに遭った様な気分です。最初に言っ「よ！」と二人を恨みました。後に何故ブルネイを選んだのか小澤さんに聞くと「日本人が殆ど来ない国だから」だそうです(日本人の旅行客年間約2千人)。誰も好き好んで酒のない国に行くことないですよ。

ブルネイの面積は三重県とほぼ同じ面積で人口135万人、ハサナル国王が統



左より原島、小澤、池尻

治(イギリスから独立)している小さな国ですが石油と天然ガスが採れその殆どを日本に輸出しており、大変裕福な国で税金がない。年金は前国王の遺産で賄えるとのこと。イスラム寺院は大変大きく屋根はなんと24金製でピカピカ、国王の息子の為に作ったディズニールランドの様な遊園地(一般開放)まであり、年甲斐もなく男三人で遊んでしまいました。

国民は川などの上に高床式住宅を構えて生活しています。ジャングルが多いうえ、平均気温が約35度以上と暑い、すぐに日焼けして真っ黒け。バス、タクシーの代わりにボートが走っています。国道は整備されていますが、ジャングルに向かう道などライフラインはまだまだで、三笠製品の必要な所が多数あります。レンタル会社は有りませ

“三笠”のある風景

場所：東京・銀座
撮影者：永井幸子さん

銀座・電通通りの工事現場で三笠のコンクリートカッターを見つけて思わずパチリ。

〔写真募集中〕

自慢の1枚に撮影メモを付けてお寄せ下さい。採用分には記念品を贈呈します。



名づけて『岡部ピース・コレクション』。その冒頭をかざるのが、上掲の三笠産業本社落成記念ピース包装箱だ。1963年のことだから、な、なんと40年余の古物。今となっては貴重な資料骨董品といってもいいだろう。収集者ミスター岡部さんは春日部工場勤務で、以前この欄には盆石探

しの趣味で登場していただいたことがある。暇さえあれば河原を歩きまわって格好いい石をさがす人。その人が持っていた、もう一つの趣味にピース空き箱コレクションがあったのでした。お借りした一冊のアルバム(他にもっとあるらしい)に収められた70種類の記念ピース空き箱を眺めていると、歴史の流れやデザイン美術の技に吸い込まれ、夢のような気分になりました。

ものを集めて保存する心の根源は豊かな愛である。自然への愛、人への愛、物への愛だと思う。



ん。ただワニが出たり、ヘビが出たり、首狩族(旧原住民)も居るそうです?実際に建設機械関係は売れると思います。国民は真面目と思われ、昨年暮インド洋大津波の後、被災地に大変近い事もある、お正月など半旗を掲げ弔意を表したそうです。ただお酒が無いのです。バーもスナックも。夜9時には皆寝るのですよ。

3日間の視察を終え次はマレーシアへ。申し訳ございませんがマレーシアでは本当に飲みました。ホテルも大変豪華なリゾートホテルに泊る事が出来、酒池肉林とまでは言いませんが、景色も大変良く、食べ物も口に合い、また小さな島に行き、魚とたわむれてしまいました。但し男3人で…。

マレーシアの面積は日本の約0.9倍、人口も2500万を超えています資源が少なく、外貨を稼ぐ為には観光などに頼る他ない様で、日本の観光客も多く、若干日本語も通じる場合もありました。小澤さんの話によると、マレーシアには三笠製品を販売して下さっている代理店があるとの事で、ぜひ訪問しようと電話をしますが通じません。よくよく調べて見ると、聞いていた電話番号は数年前のもので、今は変わっていました。

やっとの思いで連絡が付ききました。急な事で先方様にもご都合があると思いましたが、社長夫人にわざわざホテ

ルまでお出迎えして頂き、会社訪問の前に社長も含め昼食をご馳走になりました。小澤さんの通訳によるとマレーシアも不景気の為(公共工事が少ない)商売の方もなかなか厳しいとの事、以前と比べて三笠産業との取引も少なくなったと話していました。社長は過去数回来日し、三笠産業も訪問してくださったそうです。

昼食をご馳走になった後、いざ会社訪問。私も驚きましたが、技術研究所の原島さんも大変驚いた事でしょう。遠くから見ると間違いなく日本の製品なのですが、実際は大変良く出来たコピー商品ばかり、発電機にしてもエンジンにしても、もちろん三笠製品にも同じ事が言えます。社長の話によると殆どが中国製で価格も日本製の10分の1で買える。品質は間違いなく日本製が一番だが、買うお客が高い物に手が出ず安い物に走ってしまうとの事です。ただ社長もここまで会社が大きくなったのは当時コピー商品も無く、三笠と取引できたからと話しておられました。夕食までご馳走になってしまい気の引ける思いでしたが、わざわざ会社を訪問してくれたと言う謝意もあったのかと思います。

お陰様で無事日程を終え帰路に着く事が出来ました。改めて日本円は大変高く、他国へ行くと物価は安いと感じてしまいますが、日本もマレーシア同様資源は無く輸出などによって外貨を稼ぐしか方法は無く、人間力を高めて行かなければと痛感しました。

お酒は無いよりも有った方が絶対に良いです。

札幌課 池尻 記

新営業所オープンおめでとうございます



(株) 東リース 所沢営業所

株式会社東リース様(本社 埼玉県人間市 黒米清社長)に於かれましては1月に所沢営業所(埼玉県所沢市大字南永井331-1)を開設されました。

所在地は関越自動車の所沢ICに近く、交通の便も良く、他の営業所との連携の良さも大きな魅力と言えます。

今後は50店舗、年間売上げ100億を目指して着々と事業展開を計画されているとのこと、株式会社東リース様の今後のご発展と所沢営業所様のご活躍をお祈りいたします。



東日本キャタピラー三菱建機販売(株) 埼京営業所 西関東レンタル(株) 東京支店首都圏営業所

東日本キャタピラー三菱建機販売株式会社様、西関東レンタル株式会社様(本社 神奈川県相模原市 田中伸明社長)に於かれましては1月に埼京営業所、並びに東京支店首都圏営業所(埼玉県川口市弥平3-16-11)を開設され、オープンを記念して、展示会を盛

大に行われました。

同営業所はグループの中でも大型の店舗(3,000坪)で、都内を中心に営業活動をされています。今後も東日本キャタピラー三菱建機販売株式会社様、西関東レンタル株式会社様のご発展と埼京営業所様、首都圏営業所様のご活躍をお祈りいたします。



(株) ニッパンレンタル 所沢営業所

株式会社ニッパンレンタル様(本社 群馬県前橋市 石塚一彦社長)に於かれましては2月に所沢営業所(埼玉県人間郡三芳町大字上富草559-1)を開設されました。

所沢営業所は同社にとって埼玉県で6店舗目であり、充実したラインナップで建設機械以外の車両関係も豊富に取り揃えているとのこと。

今後は関東エリアに於いて益々活躍していくと思われます株式会社ニッパンレンタル様のご発展と所沢営業所様のご活躍をお祈りいたします。



(株) イマギイレ 八潮営業所

株式会社イマギイレ様(本社 埼玉

県さいたま市 今給黎(社長)に於かれましては2月に八潮営業所(埼玉県八潮市浮塚548-1)を開設されました。

八潮営業所の場所は首都高速に近く、立地的にも恵まれた環境です。同社の店舗としては16店舗目となり、埼玉県の各地域に店舗がほぼ展開されました。最近環境関連の機械も積極的に取り入れ、新しい分野の開拓に力を注がれているとのこと、八潮営業所も新しい分野に積極的に取り組んでいくとのこと。

今後は株式会社イマギイレ様のご発展と、八潮営業所のご活躍をお祈りいたします。

東関東課 千田記

札幌営業所で、第19回 オープニングフェア開催

3月23日(水)、24日(木)の2日間、札幌営業所にて19回目となる恒例のオープニングフェアを北海道三笠会の協賛により開催致しました。

今年の道内は例年になく雪が多く各地で除雪作業が盛んに行われており、当日の天候が懸念されましたが、幸いにも好天に恵まれ札幌近郊はもとより道内各地より大勢のお客様にご来場頂きました。

展示場では防音、騒音を対策したゴム製ラバーヘッド付高周波パイプレーター、マイコンパイプレーターやMT-72SGKランマー、MVC-F60Sプレート等の環境にやさしい製品や、モデルチェンジとなったFU-120SUS、FU-161新型インバーター、MGX軽便パイプレーターをはじめ、新製品であるリフォーム等の床材剥がし機械MS-60スクレーパーや小型油圧パワーユニットを使用したハンドブレーカー、杭打機等の実演を行い、実際にお客様に見て触って頂き好評を得る事が出来ました。

又、アトラクションとしまして、お



馴染みとなりましたプロゴルファーによる無料レッスンコーナーでは、今年も多数のお客様が熱心にレッスンを受けられ、間近に迫ったシーズンに向けて備えられている様子でした。

多数のご来場、ご成約を頂き感謝申し上げます。これからも皆様のお役に立てるよう所員一同努力するとともに更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

札幌課 高橋

三笠クイズ VOL.57

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、春にちなんだことばが浮かんできます。さて何でしょう。

ヒント

ヨコのかぎ
ア. 4月になって街には○○○○マ
ンが目立つ
イ. ○○○○楽器とは金属でできた管
楽器のこと。トランペット、トロン
ボーンなど。
ウ. 平城京があったのは○○県
エ. この事件は除で○○を引く人物が
いるはずだ
オ. 学園あるいは学校教育に関する
事柄。○○○課

タテのかぎ

A. 旗の一種。幾条かの長い布を半
円形の棒に取り付け、竿の先に付
けて風にたなびくようにしたもの。
B. ホウ・レン・ソウのホウは報告。
ソウは相談。レンは?
C. 刀剣などの手で握る部分。
D. ほどこくものを潤し育てる雨。千
天の○○
E. 本当の気持ち。○○○を聞いた
です
F. 来年の冬季オリンピックが開催さ
れるイタリア北西部の都市は?

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選のF10名様に記念品を差し上げます。
●あて先 ○ 101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3 三笠産業株式会社
「三笠ニュース」編集室

●締切り 2005年5月23日(月)消印有効

VOL.56の答えは「シクラメン」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。
栢森敏史様(世田谷区) 井草金子様(会津若松市) 村澤甲一郎様(長野市) 風間正様(長岡市) 宮盛正子様(藤沢市) 菅原武夫様(仙台市) 元満多美様(糟屋郡) 吉田貴之様(釧路市) 成富和昭様(三養基郡) 広尾司様(野田市)

氏名 上田正樹
入社 平成15年
出身地 埼玉県
所属 営業サービス部 部品課



— 日頃どんな仕事をしていますか? —
部品サービスセンターで部品の受注、出荷業務、部品の仕入れ等の業務を担当しています。
— 今最も関心を持っていることは何ですか? —
昔からサッカーが好きでよくJリーグの試合を見に行きます。今年は1リーグ制になり白熱した試合が多くなると思います。
サッカーは見るだけでなくプレーするのも好きで、サッカー歴20数年になります。最近では新しく出来たフットサルのチームに参加して毎週フットサルを楽しんでいます。チームのレベルを上げ、大会で優勝したいと思っています。

— お客様に一言どうぞ —
三笠産業の「WEBパーツリスト」は部品の検索が簡単に出来る上、オンラインで部品の注文が出来ます。是非ご利用ください。
私自身は入社2年目で、まだまだ解らない事がたくさんありますが、迅速・正確な部品供給をモットーに日夜努力しております。これからも宜しくお願いいたします。

我・ら・三・笠・プ・ール・ズ



氏名 陣山知馨子
入社 平成15年
出身地 福岡県
所属 東日本営業部 東京一課

— 日頃どんな仕事をしていますか? —
個性豊かで楽しいメンバーの揃った東京一課の営業事務を担当しています。主に受注・売上伝票の処理、請求書の発送、入金処理などを行っています。
— 今最も関心を持っていることは何ですか? —
入社以来お酒を飲む機会が増え、急増してしまった体重を元に戻すべく、しょうが紅茶やDIET飴等さまざまなものに挑戦しています。しかしながら運動不足のせいもありまだ効果が見られません。お酒を控えれば良いのでしょうか、それもままならず、現在は某テレビ番組で紹介されたスリムとキレイに効果があるという「α-リボ酸」というサプリメントを試し、効果を待ち望んでいるところです。
— お客様に一言どうぞ —
入社して1年半、あっという間の1年半でした。失敗と学習の繰り返しで、まだまだ至らない点ばかりでご迷惑をおかけしていることも多々あるかと思いますが、お客様との信頼関係が築けるよう、これからも努力して宜しくお願いいたします。